



松江市八雲町の『いま』がわかるガイドブック

ぼくたちの 新・八雲風土記

8
Fantastic
Stories
of
YAKUMO



新・八雲風土記の心得



1

掲載内容は単なる好み

編集メンバーの偏った好みと「良い!」という感覚だけを頼りに情報を選んでいるため、全ての方の満足を保証するものではありません。皆さん自身で五感を研ぎ澄まし情報選択をお願いします。

2

情報を鵜呑みにしない

神々の國出雲には想像を絶するほど数多の祭事や季節行事、畑仕事があり、店舗などは営業日と記載があっても急遽お休みすることがあります。訪れる際は事前にお電話でのお問い合わせをお勧めします。

3

カラスと一緒に帰りましょう

日が暮れたら、夜は家族だんらんの時間です。夜遅くまでお店が開いている都会の感覚で時を過ごすと路頭に迷うことになります。事前にお店の営業時間や交通機関の最終便は必ずチェックしましょう。

4

未完成の歴史書

「いま」の八雲のすばらしさを伝えたくて『新・八雲風土記』として編纂しました。日々の暮らしは刻々と変化しても、ぼくたちは未来に恥じない歴史を作りつづけよう。1300年後の誰かに届くように。

【ぼくたちの新・八雲風土記】

2019年3月発行

Publish 八雲町地域振興活動団体交流会(やくもネット)

Photo 森脇啓太・越野貴義

Text 佐藤朋也・前村晴奈

Illustration よしと(tukuru)

Edit&Design 豊田美智子

Coordination 石原泰仁

Cooperation 八雲町のみなさん

後援 松江市・(一社)松江観光協会

1300年前からつくものがたり

日本初の和歌

八雲立つ
出雲八重垣
妻籠みに
八重垣つくる
その八重垣を

【意味】（さかんに雲がわき立つ）出雲の幾重にもめぐらした垣根、妻をこもらせるために八重の垣を作る、その美しい八重垣を。

熊野大社にある歌碑

入海（現在の中海）

出雲国庁（現・河原社）

毛弥乃社（現・毛社神社）

石坂社（現・磐坂神社）

志多備社（現・志多備神社）

田村社（現・田村神社）

熊野山（天狗山）

熊野大社（現・熊野大社）

宇流布社（現・宇留布神社）

須賀山（八雲山）

【国】風土記に記載ややく新編風土記

神様がお住まいになられる神々の國・出雲。ここ八雲町でも神々の物語や人々の伝承が1300年前の書物『出雲國風土記』の中に納められています。物語のひとつ『ヤマトノオロチ伝説』ではスサノオノミコトがオロチ退治をし稲田姫と結婚する際に日本初の和歌を詠みますが、その場所は八雲山（八雲町と雲南市にまたがる山）と言われています。八雲町は古代から脈々と続く、ものがたりの地なのです。

出雲國風土記とは？

奈良時代、地方の文化風土・地名・特産品・神話などをまとめ天皇に献上した資料で、現代の『国勢調査』のような歴史書。全国に5冊だけ残った風土記の中でも完本で現存しているのは『出雲國風土記』だけなのです。

完本で残りました！

1300年後の現代：

2019年の八雲町風土記に魅了された男ありけり

1300年前にこのクオリティはやべえ！古代人の編集力ハンパねえよ！

キヨッシー

止まると死んでしまう魚のように日々動き続け喋り続ける。東京時代で身に付いたギラついたオーラを田舎の町へ放射しながら生きる。

そ、そうですね
それに
地名とか昔のまだし
古代の人が見ていた風景
そのまなんじゃないかと
思う時ありますよ

米屋

広島からUターン。暇さえあれば家族写真を撮りまくるカメラオタク。米屋というあだ名は実家の屋号だっただけでお米の販売はしていない。

テンション高いな！

キヨッシーさん！

わかります！でも今の八雲の人達もヤバくないすか？

こないだある集まりに行ったらその人ほ「石倉さん」だったんです！
おじさん達子どもの時からからお互いに「○○ちゃん」てあだ名で呼び合ってたホント仲良く可愛すぎなんですよね♡&%*
◎！☆\$#？

こつちもテンション高い！

おこめ

お米と演劇を愛する鹿児島出身女子。炊きたてご飯のようなつややかな笑顔とフットワークの軽さで八雲町民に愛される。

ヒゲ

テレビの構成作家というキャリアをあつさり捨て「松江城が好き」という理由だけで移住した松江バカ。結婚式も城で挙げた。元関西人。

いいねー！じゃあ今の八雲をぼくらで1300年後に残さへん？

こうして立ち上がった
ぼくたちの
新・八雲風土記

編集プロジェクト！

「1300年後に残したい八雲」を求め特派員たちは八雲町内へ繰り出した！

ぼくたちの

やべえ！

ひい！

たっ

ふ

唯一無二の大切な神事、亀太夫神事の正体は

神様の厳しくも優しいメッセージだった！

Special Interview

亀太家相伝の苦悩



亀太夫神事
亀太夫さん

亀太夫神事で重大な役目を担う亀太夫役は氏子の一軒のお宅に代々伝わる。18代目の亀太夫さんは結婚を機にこの家に入った。当時世襲の話は知らされておらず、先代が亡くなり突然役をすることになった時は苦労したという。「毎年10月が近づくともソワソワして眠れなくなりまして。大変ですが参拝者に良い気持ちで帰って頂けたら」と語る亀太夫さん。役を担って早や30年。今では毎年県外から駆けつけるファンも存在するほどになっている。

毎年10月15日に、出雲大社宮司が古伝新嘗祭に使う神器「燦白」と「燦杵」を頂くため神餅を持参して行われる亀太夫神事。餅の出来映えについて熊野大社の吟味役の社人である亀太夫がやかましく苦情を申し立てるが、その際「オリンピック選手も頑張っているのだから、手を抜かず見習ってほしい」などと毎年時事ネタを挿入し出雲大社側を諭すのが習わし。それを終えようと神餅は受け取られ火熾しの神器は出雲大社に渡される。

常に身をただしなさい

出雲國一之宮 熊野大社

火を継ぐことは
霊を継ぐこと



熊野大社
宮司さん



深い〜！

熊野大社は「日本火出初之社」つまり火の発祥の神社と言われています。出雲大社では宮司の世継ぎの際にも熊野大社を訪れ、神から頂いた神聖な火で調理した御食で儀式をするところから、火継ぎは「霊継ぎ」と考えられ大切にされてきました。人々も火で調理された食べ物を頂くことで神の力を授かり自然の生命を身に引き継ぎ生きています。毎日の「いただきます」にはこんな意味も込められているのですね。

1 熊野大社 松江市八雲町熊野 2451 ☎0852-54-0087

周辺の

熊野大社の楽しみ方

いい湯だな！



温泉スタンド

熊野館で販売している専用コイン1枚(150円)で源泉が汲める。車にタンクを積んで乗りつけたい！



八雲温泉

熊野大社のすぐそばにあるゆうあい熊野館の温泉。広々とした内湯と露天風呂でゆったり疲れを癒そう。



鯉のえさ

駐車場と鳥居の間にある池には沢山の錦鯉が。1袋20円(!)の昭和プライスで鯉との憩いの時間が楽しめる。



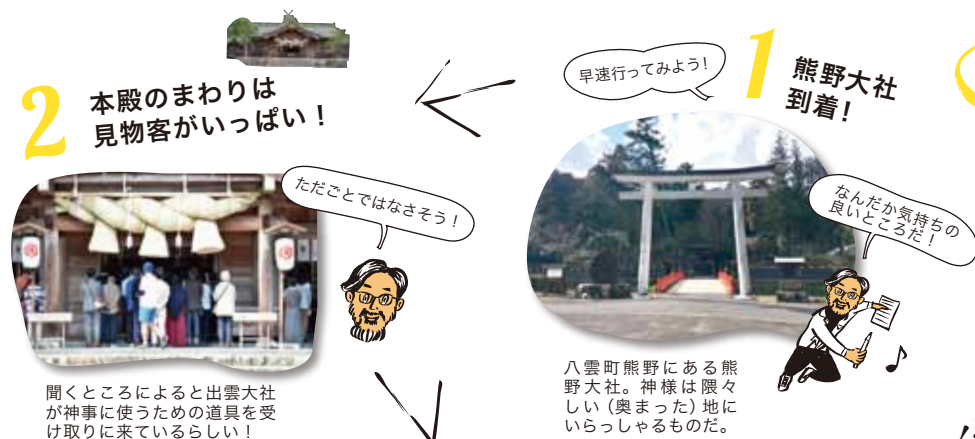
御神水(湧き水)

境内左奥にある荒神社横から流れ落ちる御神水。のどが潤うとともに心が清められるありがたいお水。



ハート石

境内のどこかにあるハート石は見つけると幸せになれると、ご縁旅女子の間で話題になっているとか。



2 本殿のまわりは見物客がいっぱい！



聞くところによると出雲大社が神事に使うための道具を受け取りに来ているらしい！

3 そこでヒゲが見たものとは…!?

(熊野大社)

このお餅はよく見ると…

つき直してください

色が黒くつぶつぶが入ってひび割れているの白い粉でこまかしている

えっ!!本気!?



OMG!!



熊野大社
亀太夫

出雲大社
神職

口やかましい神職!?

出雲大社は持参したお餅を熊野大社に差し出す。しかしその出来映えが気に入らないらしく、熊野大社の吟味役の社人・亀太夫があれやこれやと苦言を呈し始めた。厳かな社殿に気まずい雰囲気が流れる…。

※社人…社(やしろ)に仕える人。神職。

(出雲大社)

……。

鑽火祭の
亀太夫神事

5 そのまま神器は運ばれ

鑽火殿に納まった



6 お礼の舞が延々と…

な、長え!!



神器を頂いたお礼に出雲大社宮司により「百番の舞」が粛々と舞われ、無事神事は終了。



散々文句を連ねた後お餅を受け取ることにしたらしい。引き換えに何かを差し出す亀太夫。火おこしの神器が入っている。



ホッ

よかった〜

本年のみはお供えしましょう

4 ところが!!?

そうは言いましたが…
なかなか無理な話でしょうし
苦情を言った点を来年から正すなら

八雲と言えば、まずは熊野大社へ！
年に一度(10/15)大事なお祭があると聞きやって来た！

唯一無二の大切な神事
in 熊野大社



5 安部榮四郎記念館

和紙に関する資料や民藝品の豊富なコレクションが保管されているほか、予約すると紙漉き体験（500円〜）や工房見学も可能。

9:00-16:30 火定休 島根県松江市八雲町東岩坂1754 ☎0852-54-1745 入館料大人500円(小人200円)



神話 vol. 3

クールジャパンここに在り
アニメとゲームだけじゃない！何世代にも渡り発展を遂げ現在に至る伝統技術や暮らしの知恵も、最高にクールでビューティフルな日本の誇り。たとえ時代が変わっても、決してなくしてはならないのだ。

7 ふるさとファーム桑下

体験者募集中！
☎080-5614-4197



刈った稲をハデに掛けていく



農と里山



美しい田畑と食を守る
八雲を愛するメンバーが耕作放棄地を元の美しい緑の田んぼに戻そうと活動。米作りから草刈り、イノシシ防護柵の設置などを行う。安心・安全なお米は地元でも評判の味！



薄暗い工房の中では一枚一枚色鮮やかな和紙が作られる



原料を洗う作業に使う湧水は夏は冷たく冬は暖かく感じる

年に数回行われる和紙の天日干し。昔は日本中にあったこんな風景も今では珍しくなった

紙漉き

紙のふるさと

東岩坂地域にある「出雲民藝紙工房」。柳宗悦やバーナード・リーチらとともに民藝運動に加わり、人間国宝・故安部榮四郎が生み出した色紙や模様紙が美しい。雁皮、三桎・楮それぞれ原料の特徴を生かし、山の豊富な湧水や昔ながらの道具を用いて自然と共存した紙漉きが続けられている。工房内は道具ひとつひとつに趣があり、職人が紙を漉くダイナミックな音が静かに響く。石州瓦の昔ながらの家屋が立ち並ぶ集落を散歩しながら、日本の原風景を体感してみたい。

炭焼き

火を絶やすべからず

昭和40年頃まで八雲の冬の稼ぎとして盛んに行われた炭焼き。そんな伝統の火を絶やすまいと活動するのは平均年齢77歳（取材当時）のおじさま達！カシとナラを中心とした質の良い炭は全国から注文が増加中。ネット販売も始め、次世代育成をも目標とする誇り高き勇者達だ。



火を入れてから約一週間、昼夜温度管理する



出来上がった炭



6 桑炭会（炭焼き）

窯の稼働は不定期。見学はHPをご覧ください。
sohtankai.web.fc2.com



カッコイイ♡



2 しいの実シアター

八雲の森に佇む公立劇場。俳優の息づかい、繊細な表情の変化一つも逃さず感じられる空間が魅力。週末には、専属劇団あしぶえの稽古を見学することができる。（詳細はHPをご覧ください）

松江市八雲町平原481-1 ☎0852-54-2400 forest.ashibue.jp/



神話 vol. 2

愛に勝る地域資源はなし

地方創生が叫ばれて久しいが、衰退する地域を救うのはカネでも敏腕コンサルでもない。他人任せにせず足元を見つめ直そう。地域の未来を救うことができるのは一人ひとりの地域への「愛」それだけだ！

松江・森の演劇祭

ある日森の中
演劇に出会った
3年に1度、秋に劇場の森を中心に行われる演劇祭。国内外の劇団による多様な演劇作品を鑑賞・体験できる。普段は静かな森が可愛く飾られ、賑やかなお祭の舞台に。この国際的なお祭を支えるのは約200名の強力な地元ボランティアアクター。「演劇は心の食べもの」の言葉どおり、良質な演劇との出会いはもちろん来場者と地域のひととの心のふれあいも魅力。

八雲ゆう遊こいのぼり



スタンブラリーでは八雲町のアーティストよしとさんのこいのぼりステッカーがもらえる！



意宇川沿いの春の風物詩
平成2年に始まり一旦は途絶えてしまったこいのぼり掲揚を地元の若者が復活させた。今ではブラスやイベントステージも充実。町外からも沢山の親子連れが訪れ、風に泳ぐこいのぼりを見ながら水遊びを楽しむ春の一大イベントになっている。

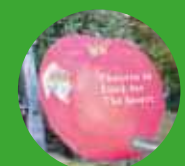
4 日吉親水公園

毎年4月中旬～5月中旬まで開催
松江市八雲町日吉

イベントを主催する八雲ゆう人会の石原さん



ボランティアは地元の中学生から70代と幅広い！



「演劇は心の食べもの」リンゴの看板が演劇祭の目印！



会場内を走るトックトック



こんな小さな町に、たのしいがいっぱい！

八雲へようこそ

楽しいよ～！！



やくもまつり



八雲町民の誇り

八雲町が村だった時代から続くお盆の花火大会。火の粉が落ちてきそうなど間近で打ち上がる花火は感動モノ。2019年よりお祭りもリニューアル。新たな「田舎花火」にぞ期待あれ！

3 八雲中央公園

毎年8/14開催
松江市八雲町西岩坂1074

やくも図鑑

どうぶつ



サワガニ
美しい川辺に住む。両手をあげて道路を横断していることがあるので道を譲ってあげよう。



カワニナ
意宇川などに生息。ゲンジボタルやヘイケボタルの幼虫の餌になる。



たぬき
町内の山に住み、果物、ネズミ、鳥、は虫類、ミミズなどなんでも食べる。



カモ
11～3月頃まで意宇川に暮らす渡り鳥。春にはヒナを連れてブカブカ泳ぐ姿が可愛い。



ホタル
志多備神社沿いの川に多く生息。6月上旬の雨上がりには蛍イルミが見られることも！



モリアオガエル
きれいな空気と水のある場所に生息する準絶滅危惧種。秋奥地区でみつけれられる。



カワウ
意宇川で見かける真っ黒い鳥。羽根を広げている時は濡れた羽根を乾かしています。



いのしし
車を走らせていると親子で出会うことも。迷惑者だがジビエとしては人気が高い。



めだか
絶滅が心配されるが町内にはめだかの学校があるのかスイスイ泳ぐ姿が見られる。

人と自然と動物と最先端の暮らし

便利で快適な暮らしが正解だった頃、島根はビリだったかも知れない。だけど時代は変わった。自然と共生した「のんびり豊かな暮らし」ではもはや最先端だ！



この本のイラストを描いてくれたのは…
みんな！元気～！
八雲町在住アーティスト
よしとさん
紙芝居パフォーマンスやアートイベントで活躍中！ <https://www.tukuru.biz>

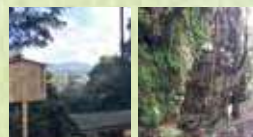
出雲弁

- 【だんだん】
ありがとう。「だんだん、だんだん」と繰り返して使うこともある。
- 【あげ・こげ・そげ】
あんな・こんな・そんな。「あげあげ」「そげそげ」と相づちにも使える鉄板言葉。
- 【ちよんぼ・ちよんぼし】
少し。わずか。「ご飯はちよんぼにしてください」など注文の時になどに恐れずに使ってみよう。
- 【クーだわね】
おいで。来てくださいね。決して目の前のものを食べないように。
- 【おちらと】
ゆっくりと。慌てずに。より詭る場合は「おつらと」に変化する。
- 【たばこする】
休憩する。禁煙者でもたばこするのが出雲地方の知られざるルールである。
- 【うほど】
「うほど下さい」と話しかけられてもパニックにならないよう気を付けよう。
- 【がいな】
強い。大きい。
- 【直会】
飲み会。打上げ。
- 【はつとじ】
カメムシ。
- 【ゴズ】
魚のハゼのこと。
- 【まげな】
すごい。

いわくら

磐座は古来から万物に神が宿ると考える日本人が大切にしてきた石のこと。巨石には不思議な力が宿ると信じられていたんですね。

8 熊野大社上宮



熊野大社から500m 上流にある。産婦が服すると母乳が満ち足りるといわれる明見水がある。後方の山頂の磐座の前でお祓いをし天狗山へ遥拝することが出来る。

9 天狗山元宮ケ成



出雲風土記で熊野山として「熊野大神の社坐す」と記された天狗山。山頂付近の複数の磐座は大神様が天降った場所とも言われている。

10 スサノオの足跡



熊野のなだらかな田畑の脇にそびえる巨石。地球が出来て間もない頃スサノオノミコトが金馬に乗って降り立たと語り継がれている。

お店は少ないけど、こだわりの名店があります。

ごはん&買い物



ほっこりしに
来て下さいね!



11 ivi cafe /SPIRAL DESIGN STORE

オリジナル焙煎の珈琲と、食べてカラダが元気になるゴハン。「日々の暮らしにちょっとしたこだわりと充実感を」と語るオーナーからお気に入りの物たちの背景を聞けるのも魅力のひとつ。

11:30-18:00 (LO 17:30) 木・金定休
(祝日の場合は営業) 松江市八雲町熊野181-3
☎0852-61-2662 (cafe) / 0852-61-2661



USAや北欧のヴィンテージ
の雑貨・家具ショップを併設。



14 旬菜レストラン 知足亭

手作りの田舎定食は万人の胃袋を掴むおふくろの味。気軽な会話が飛び交うアットホームな接客で、県内外に根強いファンを持つ地元密着型の人気店。

11:00-14:00 金・土・日のみ営業
※なくなり次第終了
松江市八雲町熊野793-1
☎0852-54-2789

食べに
くだわね!



13 hibi

日々使ってもらえるモノを“自分流”で楽しんでもらいたい。革・帆布製品の、アトリエ兼ショップ。オーナーとじっくりと相談しながらのオーダー商品も可能。

13:00-19:00 月・第3日曜定休 松江市八雲町平原 275-7 ☎0852-33-7530

オーダーメイドの
カメラケースほしいな...



ご希望に合わせて
お作りしますよ!

新雲風土記

神話 vol. 5

「心が満足」を選ぶべし

高級フレンチもブランドバッグもちょっと違う。欲しいのは顔の見える誰かが魂を込めて作ったもの。心が満たされる衣食住、それが一番豊かだね。



山菜おばあちゃん

ようおこし
ほれ、そこにあーかね。
おばあちゃんは
山菜を見つける天才!



おばあちゃんのダイアローグ

美味くな〜れ



すごい数の丸餅が
瞬間に出来ていく!

秋吉農産加工組合



八雲猪肉生産組合

まつえのジビエを召し上がれ!

松江市で唯一の猪肉の加工処理場を運営されているのが八雲猪肉生産組合さん。主に地元猟師や農家さんで構成されている。農地を荒らしたり、農作物を食べてしまったりと、有害鳥獣として最近話題の猪だが、お肉は高タンパク低脂質で身体にも良いと言われている。まだ猪肉を食べたことがないという、そのあなな! 八雲で処理されたおいしい猪肉を是非いかがですか? この猪肉を使ったフランクフルトはお隣玉湯町の八百万マーケットで販売している。新商品も続々開発中とのこと!



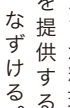
ジビエガールも活躍中!

ひとりみんなのために

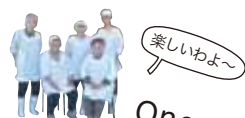
残念だが自分だけ良ければいい人に田舎生活は向いてない。助け合わないとどうにもならないことが多く、単純にみんなでワイワイやった方が楽しんだよね。

地域を支える底力、あります。

旬菜レストラン知足亭に食材を提供するおばあちゃんを訪ねた。どんな作物を育てているか聞いてみると「お野菜、果物、お米に雑草...」「えっ! 雑草?!」おばあちゃんの案内で家の周りを歩くと、わらびやゼンマイ、筍やフキノトウなどあつという間に色んな山菜がおばあちゃんの手の中に納まっていく。おばあちゃんというただの雑草だった草が食材に見えてくるからすごい。知足亭はこんな知恵の塊のようなおばあちゃんから仕入れた雑草...もとい山菜や、地元産の旬野菜を使い地元のお母さんたちが料理し、素朴で豊かな食を提供する。人気もうなずける。



おばあちゃんと採った山菜の数々。おばあちゃんも食べられるって、橋の花やスミレも知ってましたか?



楽しいわよ〜

One Obasan for all Obasan.
「八雲のおばさん」ブランドで、みそや焼肉のタレ、漬物など地元の農産物を利用した加工品を作っています。「家で一人ぼっちでいても、つまらないでしょ?」と会長の三島さん。ひきこもりがちな高齢者のふれあい、いきがい作りを目標に「常に清潔。体調管理に気を付け、みんなで楽しく仕事する」。八雲のおばさん味噌は、余計な物を一切いれないのがミソ。八雲町民にとっては、この味噌の味が「おふくろの味」ならぬ、「おばさんの味」。ぜひご賞味あれ!

平原農産加工グループ



この日は地元
中学生が職場体験に!

八雲を梅で埋め尽くす!...梅だけに。と云ったかどうかは定かではないけど、八雲町に梅の木1000本を植樹し、梅の加工品を作っているわらの駅やくもさん。こちらで作られる商品は、品切れ続出で大人気とのこと。さっそく加工現場に伺うと、梅干しの良い香り。組合員さん達が仲良く作業をされている。手際良く。とても手際良く。梅干しの種をとるのも、食材を細かく切るのも、出汁をとったアゴ(トビウオ)から身と骨を分けるのも、最終の計量、瓶詰め作業まで...ほぼ全ての行程を手作業で行っている。これは梅えに違いない!

NPOわらの駅やくも

創業？
百年くらいかしら？



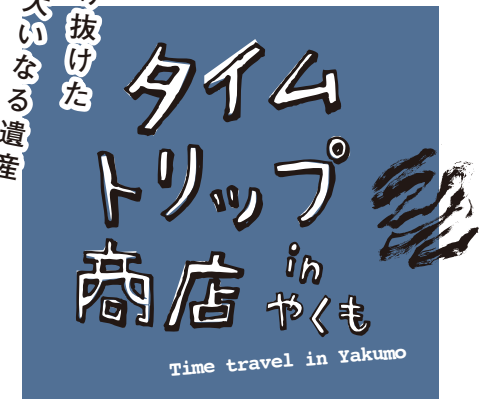
明治
36
年創業

歴史を感じる店構え。創業は？と聞くと「そうね、もう百年位になるかしら？明治36年からだから」ということは、116年目！16年サバ読んです！でも、後継者がねえ」とおかみさん。ここまできたら是非でも1300年後まで続けてほしい！

15 高木商店
松江市八雲町西岩坂 334-2
☎0852-54-0034



激動の時代を駆け抜けた
八雲のたいなる遺産



訪れるとおかみさんと一匹の猫が出迎えてくれた。振り返ると「何しに来たんや」と言わんばかりに違う猫がこちらをジッと見つめている。店内をよくみると数匹の猫が。まるで猫カフェーいや猫商店！お酒と食料品も扱っているの、で猫好きと酒好きはとりあえず行ってみるべし。



八雲の猫カフェ
ならぬ猫商店！

大正はじめ頃創業

16 山崎商店
松江市八雲町熊野 776-1
☎0852-54-0023



オートマチック百円均一？

三島商店は不思議なお店だ。容器に100円を入れて旬のお野菜や加工品、お花などが買えるオートマチック会計システムがあったり、タバコを販売しているレジの後ろには謎の格言が貼ってあったり、猪肉の販売をしていたり。まさに八雲町のキングオブ不思議商店！



商店川柳！



大正はじめ頃創業

季節の野菜や加工品の百均は不定期開催

18 三島商店
松江市八雲町熊野 776-3
☎0852-54-0647



新雲記
風土記
神話 vol. 7

継続は力以上、なり

八雲町にはコンビニが一軒しかない故、全国的に絶滅危惧になった個人商店が普通に存在し独自に進化を遂げている。継続は力以上の存在感をも発揮するのだ。

まちのよろずやになりたい



17 吉田屋
松江市八雲町日吉 333-84
☎0852-54-1115



ディープ・オブ・八雲

八雲のディープスポットや
ちよつとヘンな風習をご紹介します

神聖なスタジイ

のどかな田んぼを見ながら志多備神社参道を通り抜ける、と、そびえ立つスタジイに出会える。樹齢は不詳だが古くから荒神様が宿る木として人々に大切に守られてきた。圧倒的な存在感と荒々しさがあがり、木陰に佇んでいると精霊に出会えそうな神聖な雰囲気漂う。



うなぎが神様？

宇留布神社（合祀前の三島大明神）には昔、伝説の池があり香りと味の良い酒が湧き出る池だったそうです。またこの神社の周辺では、白いうなぎは神の使いと信じられ、人々はうなぎをとらない・食べないという風習が今でも秘かに続けられているとか。

日吉の切り通し

皆さんは、『周藤弥兵衛』という人物をご存知でしょうか？彼は八雲町のスーパースター！それも、宝永3年（1706年）から意宇川の洪水被害を無くす為、私財を投げ出し、のみと槌を使って、56歳から97歳までの42年をかけて工事を完成させた人なのです！すごいでしょ！まさに八雲町民にとって感謝・尊敬・リスペクト！の人。意宇川のほとり、日吉親水公園に銅像があるので是非立ち寄って歴史に思いを馳せてみて。



20 宇留布神社（三島大明神）
古代より平和な桃源郷だった神の里・平原地区に佇む神社。
松江市八雲町平原 2038

奇祭・大餅さん

東岩坂地区の大餅さん
八雲には2種類の大餅神事が伝わるが、それぞれのお祭は似て非なるもの。東岩坂地区では1月の第2週目、正月の中頃、大小の餅をワラ縄と竹で飾り付け、星上山麓の仁王門から二十丁（約2km）の参道を、五穀豊穡や無病息災を祈りながら担ぎ上げ、星上寺と那富乃神社に奉納する。大雪の厳しい中でも絶えたことのないお祭りだ。

秋吉地区の大餅さん

一方、秋吉地区の田村神社の大餅神事は2月11日に行われ「七日塔」と呼ばれる。豊作祈願や狩猟祈願をした後、大餅を子どもに背負わせ帰るところを後ろから雪を投げつけるという衝撃のクライマックス。投げられた子どもは可哀想に見えるけど、この役を担えることは実は名誉なこと。餅に的中すると幸せになるとされる。



21 星上寺
星の神が降臨されたという伝説のある星上山の山頂付近にある曹洞宗のお寺。
松江市八雲町東岩坂 2192-1



22 田村神社
出雲國風土記に「田村社」と記された神社。金山彦命という鉄にまつわる神様がお祭神。
松江市八雲町西岩坂 2302



19 志多備神社
スタジイは森に囲まれ静けさの漂う志多備神社境内にある。
松江市八雲町西岩坂 1589



新雲記
風土記
神話 vol. 8

Make our history.

忘れないでほしい。ぼくたちは1300年前の物語が今も息づくこの地に立っている事を。そして次は、ぼくたちが今という歴史をつくる番なのだ。



逃げる〜

